

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

遠野ふるさと再生プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

岩手県遠野市

3 地域再生計画の区域

岩手県遠野市の全域

4 地域再生計画の目標

【地域の現状及び課題】

(人口)

遠野市は、旧遠野市、旧宮守村が2005（平成17）10月1日に合併して誕生し、合併時の人口は32,364人となっている。市村合併から15年が経過し、本市人口は2019（平成31）3月末現在で26,899人まで減少し、高齢化率は男女あわせて39%となっている。国立社会保障・人口問題研究所による将来見通しでは、2025（令和6）年には約23,000人になると推計されている。

(地理的・自然的特性)

本市は、岩手県を縦断する北上高地の中南部に位置し、東西、南北ともに約38km、総面積は825.62km²ある。内陸と沿岸を結ぶ交通と産業の結節点の要所であり、近年は自動車専用道路開通や交通の難所となる峠道へのトンネル完成により、県央部の東北新幹線や空港、東北自動車道、三陸自動車道へのアクセスが飛躍的に向上している。

標高1,917mの早池峰山を最高峰に、標高300mから700mの高原群が周囲を囲み、市域の中央部の遠野盆地に中心市街地を形成している。

(産業)

広大な自然と冷涼な気候のもと農林業を基幹産業としており、稲作を中心としながら野菜・果樹、畜産業と組み合わせた複合経営されており、本州一の乗

用馬生産地としても知られている。

なかでも、当市は日本で最大のホップ栽培地であり 56 年にわたり良質なホップを生産し、2018（平成 30）年の収穫量は約 43 t となっている。

（観光）

本市においては四季が織りなす美しい田園風景や里山景観が維持され、日本の原風景として全国の人々に親しまれ、柳田国男の「遠野物語」に代表される歴史と文化が今も伝承され、南部曲がり家を移築した「遠野ふるさと村」や「遠野物語の館」等の観光施設に観光客が訪れているものの、東日本大震災以降、沿岸部への観光に訪れる人が減少し宿泊客数も減少傾向にある。併せて周辺道路網整備が進み、宿泊を伴わない通過型観光への移行や少子高齢化・人口減少による国内旅行者数減少も予測されており、新たな観光資源・ターゲットの掘り起こしが急務となっている。

観光客数の推移

項目	2009(H20)	2019(H30)	増減率
観光客入込数	1,937,098 人	1,705,352 人	88.0%
日帰り旅行者数	1,873,299 人	1,634,440 人	87.2%

【目標】

上記の課題に対応するため、遠野市の特産品であるホップを観光振興・農業振興につなげていく官民一体となった取組みである「ホップの里からビールの里へ」を具現化するため、市内や首都圏でのイベント開催や地元での畑・施設見学、地元クラフトビール飲み比べ等ができるビアツーリズムの実施することによる観光・関係人口の増加につなげ、観光客数の減少に歯止めをかける。

【数値目標】

事業の名称	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
遠野ふるさと再生プロジェクト	ビールの里関連 イベント参加者 数(単年度)	8,000人	16,000人	分野横断プロジ ェクト2

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

遠野ふるさと再生プロジェクト

②事業の内容

持続可能なホップ生産地体制の確立していくため、ホップやクラフトビールを地域資源として観光や産業の活性化を活かした取り組みを行う。

日本産ホップの振興を目指す企業からの企業版ふるさと納税を活用し、地域住民がホップ生産地であることを地域の誇りに思える機運の醸成や市外から訪れる交流人口の獲得を目指し情報発信を行いながら、次の事業を展開する。なお、本事業に要する経費は、「遠野市産業振興基金条例」に積み立てるものとする。

● ホップやビールを軸とした、地域の観光推進と産業活性化

2007年遠野市と麒麟ビール株式会社による地域活性化プロジェクト「TKプロジェクト」、2018年に遠野市、麒麟ビール株式会社、東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社の三者により締結した「遠野エリアの地域活性化に関する連携協定」に基づき、本事業を推進することにより地域特産品としてのホップ栽培振興と遠野産ホップを使用したクラフトビール製造販売という産業振興が図られるとともに、ホップ畑見学や収穫作業を見学するツーリズム開催やビールイベントである遠野ホップ収穫祭やフレッシュホップフェスト開催による観光及び交流人口の拡大を図り、行政・農業者・住民・企業と連携した取組みとなる、「ビールの里構想」のビジョンの実現に向けて取り組んでいく。

本事業は、遠野スタイル創造・発展総合戦略の分野横断プロジェクト2【遠野ふるさと再生プロジェクト】～ホップの里からビールの里へ～に位

置付けられる事業であり、当該プロジェクト2のKPIである「ビールの里関連イベント参加者数」の増加に資し地域再生に寄与するものである。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

40,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

事業のKPIである「ビールの里関連イベント参加人員」については、実績値を公表する。

また、遠野市の観光推進アクションプランを推進していく外部組織「遠野市観光推進協議会」に諮ることとし、事業の結果を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を改善することとする。

毎年年度末（3月）の状況について、翌年4月に開催する外部組織「遠野市観光推進協議会」による効果検証を行い、翌年度以降の取組みに反映する。

目標の達成状況については、検証後速やかに遠野市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) オール遠野で観光まちづくり推進事業

① 事業概要

市内の観光関連事業者との連携による観光事業体制の強化と誘客活動を図り、JR釜石線沿線自治体とも連携し遠野方着地観光の推進に取り組んでいる。

② 事業実施主体

遠野市観光推進協議会

③ 事業実施期間

2019年4月から2025年3月まで

(2) 連携交流推進事業

① 事業概要

廃校跡地活用した、企業や大学の研修受け入れ拠点事業や友好都市との児童交流・市民ツアー及び物産交流を図る相互交流事業に取り組んでいる。

② 事業実施主体

岩手県遠野市

③ 事業実施期間

2019年4月から2025年3月まで

(3) 遠野ツーリズム交流推進事業

① 事業概要

遠野の地域資源や特性を活かした「遠野ツーリズム」の推進と、交流拠点施設「遠野早池峰ふるさと学校」を関係機関や地域住民と連携し、教育旅行受け入れ等に活用していく。

② 事業実施主体

岩手県遠野市

③ 事業実施期間

2019年4月から2025年3月まで

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで